

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	ポンプ場施設維持管理事業			事業コード	0842
担当課等	所属名	上下水道局 下水道施設管理課	担当係名		
	課長名	上下水道局 下水道施設管理課	担当者名	武蔵 博行	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	健全な水環境・良好な水循環の創出	コード 6
	基本事業	汚水処理の充実	コード 1	関連予算 費目名	下水道事業会計 1款01項20目 ポンプ場施設維持管理事業(300-02)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 38年度～)					
事務事業の概要	雨水、汚水の各ポンプ場施設を年次計画に基づき定期的に改修し、施設の機能保持及び運転管理を行うものである。					
根拠法令等	下水道法第3条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
下水道事業の開始(昭和28年)に伴い、自然流下で対応できない低地域の汚水を揚水し、処理場へ圧送するために汚水中継ポンプ場を設置し、また、降雨時の市街地浸水を防止するために雨水ポンプ場を設置したことによる。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
特になし。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
施設の大部分は老朽化が進み、その中でも設置後40年以上経過した施設は全面的な改築・更新の時期を迎えている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 汚水中継ポンプ場及び雨水ポンプ場数	単位	ヶ所
			B. 汚水中継ポンプ場計画汚水量	単位	m ³ /日
			C. 雨水ポンプ場計画放流量	単位	m ³ /sec
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 巡回点検の実施日数	単位	日
			B. 不具合設備機器の修繕、改修件数	単位	件
			C. 点検業務委託実施件数	単位	件
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 設備機器の不具合による施設の運転不能日数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	日
			B. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
			C. 【指標の性格:○上げる ○下げる ○維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	汚水処理人口普及率(処理区域内人口/行政区域内人口)(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	汚水中継ポンプ場及び雨水ポンプ場数	ヶ所	11	11	11	11	11	11	26年度 11
対象 指標B	汚水中継ポンプ場計画汚水量	m3/日	14,489	14,489	14,489	14,489	14,489	14,489	26年度 14,489
対象 指標C	雨水ポンプ場計画放流量	m3/sec	15.04	15.04	15.04	15.04	15.04	15.04	26年度 15.04
活動 指標A	巡回点検の実施日数	日	243	242	243	243	244	243	26年度 243
活動 指標B	不具合設備機器の修繕,改修件数	件	18	18	18	13	18	18	26年度 18
活動 指標C	点検業務委託実施件数	件	7	7	7	8	10	10	26年度 10
成果 指標A	設備機器の不具合による施設の運転不能日数	日	0	0	0	0	0	0	26年度 0
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	74,843	77,758	74,694	75,042	84,863	75,000	*****
財源 内訳	④国	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑤県	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑥地方債	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑦一般財源	千円	74,843	0	0	0	0	306	*****
	⑧その他(下水道事業会計)	千円	0	77,758	74,694	75,042	84,863	74,694	*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	74,843	77,758	74,694	75,042	84,863	75,000	*****
	延べ業務時間数	時間	10,886	10,842	11,000	10,886	11,000	11,000	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は,事務費に含む)	千円	43,544	43,368	44,000	43,544	44,000	44,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	118,387	121,126	118,694	118,586	128,863	119,000	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: ポンプ場施設を適正に管理、運転することで、汚水や雨水を迅速に処理でき、衛生的で安全な生活環境を確保することができる。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 定期的な点検整備や計画的な機器の更新を実施することにより、設備機器の耐用年数を長くしたり、不具合の発生を未然に防止することができる。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 汚水、雨水を処理する施設を維持管理する事業であり、休止・廃止した場合は、衛生的な水環境を確保することが困難となる。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 流域下水道関連事業(中川汚水中継ポンプ場等) ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 下水道法により、各々の管理者が定められている。
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 適正な維持管理に努めても設備機器の経年劣化による不具合の発生は避けられないことから、事業費を削減することは困難である。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 運転管理方法の改善等により現在の人員配置になっており、維持管理施設が増えている現状から、これ以上の削減は困難である。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 受益機会は計画に基づき定められた区域内で行われていることから適正である。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 費用の原資は条例に定めている使用料である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 設備機器台帳を整備し、現在の事後管理から予防保全管理へと移行し、定期的な点検整備や計画的な機器の更新を実施する。また、設置後相当年数を経過している施設について全面的な改築・更新を計画、実施する。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 設備機器台帳の整備、保安全管理計画の実施に係る財源の確保や老朽施設の改築・更新計画の策定、実施するための体制の整備が必要となる。これら経費、事務量の増加に対応するため、財政、人事両面において、普及拡大から維持管理へ施策の比重を移さなければならない。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>施設は設置後、相当の年数が経過して老朽化が著しい状況であるが、財源確保が困難なことから改築・修繕等が十分に行えない状況である。 施設が運転停止となれば、汚水や雨水の排水が不可能となり、市民生活に重大な影響を及ぼすことから、ポンプ場機能の確保と適正管理を行うため、計画的な改築・更新の財源確保が急務である。</p>											
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>設備機器台帳の整備及び保守管理計画を立て、計画的に施設や設備の改築・更新を行う。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										